



2026年2月13日

各位

会社名 ブリッジインターナショナルグループ株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 吉田 融正  
(コード番号：7039 東証グロース)

問合せ先 経営企画本部長 渡部 毅  
(TEL.03-5787-3030)

### 業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

日頃より、当社にご関心をお寄せいただき誠にありがとうございます。2025年11月14日に公表いたしました2025年12月期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. 2025年12月期連結業績予想と、実績値の差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想 (A)	9,027 ～9,858	967 ～1,053	967 ～1,053	588 ～642	163円65銭 ～178円63銭
実績値 (B)	8,564	873	865	536	149円24銭
増減額 (B-A)	△462 ～△1,293	△93 ～△180	△101 ～△187	△51 ～△105	—
増減率 (%)	△5.1 ～△13.1	△9.7 ～△17.1	△10.5 ～△17.8	△8.9 ～△16.5	—
(参考)前年連結実績 (2024年12月期)	8,615	950	998	661	182円52銭

## 2. 差異の理由

売上高について、主に、インサイドセールスアウトソーシング事業において、年後半からリソースの有効活用と中長期的な収益基盤の拡大を目指し、現在の中小型案件（約 30 百万円/年）から IT・金融業界等の大型案件獲得（約 100 百万円/年以上）へ重点シフトすることを推進しました。これら大型案件の受注に向けた営業活動に想定以上の期間を要したことから、当連結会計年度の収益計上が予想を下回る結果となりました。

また、2025 年 10 月の持株会社体制への移行に伴う業務委託費の発生に加え、社会保険料の納付時期の見直し、および今後の収益性向上を目的とした不要資産の整理（費用化）が想定を上回りました。これらの要因により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はいずれも前回発表予想を下回る結果となりました。

以上